

「双葉地方の住民を対象にした災害復興実態調査」（平成 23 年度／福島大学  
災害復興研究所実施）にご回答くださった皆様へ

本学が管理している試料を他の機関が行う研究に提供をすることに関して、以下のとおりお知らせいたします。研究対象となる調査にご回答くださいました皆様にはご理解を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本件に関してご質問等がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡くださるようお願いいたします。

研 究 課 題	大規模社会調査における欄外記入文のデータ化と分析手法の探究
研 究 内 容	大規模社会調査の回収済み調査票において、回答欄の枠外に書き込まれた多量の「欄外記入文」の重要性に着目し、調査データとして再分析手法を探究する。また、本研究で電子化した調査データは、双葉地方の人々の事故当時の声を正確に記録し、次世代へと継承するため、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターに寄託する予定である。
研 究 実 施 期 間	令和元年 8 月 1 日～令和 4 年 3 月 3 1 日
研 究 対 象 試 料	下記調査の回答済み調査票 13,576 票 [調 査 名] 「双葉地方の住民を対象にした災害復興実態調査」 [調査期間] 平成 23 年 8 月 23 日～平成 23 年 9 月 30 日 [調査対象] 調査時点において双葉地方 8 町村各自治体の被災者名簿に記載されていた住民世帯 [調査目的] 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びその後の原子力災害によって福島県内外に広域避難された双葉郡の方々の住まいと暮らしの実態を学術的に調査し、今後の生活再建に向けた課題を明らかにするとともに、双葉郡全体の復興に向けた課題を把握する。
研究実施機関・ 研究実施責任者 (試料提供先)	東京大学大学院総合文化研究科 橋本摂子准教授
個人情報の取り扱い	個人の特定に結びつく可能性のある情報については、研究実施機関において匿名化を行う。
問 い 合 わ せ 先	本件に関してご質問がある場合、研究への試料提供をご希望されない場合は、下記までご連絡願います。 福島大学行政政策学類支援室 電話：024-548-8253